

『がん患者さんと家族のための 抗がん剤・放射線治療と食事のくふう』

- 山口 建監修 -

- 発行：女子栄養大学出版部 -



本書は、静岡県立静岡がんセンターが日本大学短期大学部食物栄養学科の協力で制作した、抗がん剤・放射線治療を受けている患者のための「食」の情報を集めたレシピブックである。

がん治療を受けている患者の多くは、食事に関して様々な問題を抱えている。

特に食欲不振や嘔吐、味覚の変化など治療にともなう副作用から思うように食事ができないことは、患者にとって大きなプレッシャーとなる。

本書は全2章構成となっており、第1章「簡単でおいしい食事のくふう」では、味覚変化、摂食困難、白血球減少など治療にともなう副作用と、それらを上手に克服しておいしく食べるためのひと工夫が加えられた色々な料理のレシピが、すべてカラー写真で紹介されている。レシピは主菜から汁物、デザートまで176品を網羅しており、料理本としても優れた一冊である。

また第2章「症状別・生活と食事のくふう」では、抗がん剤治療や放射線治療による様々な副作用とその対策が、カラーイラストとわかりやすい表現で説明されている。巻末には「副作用チェック表」と「食事日記」のひな形を収録しており、このページをコピーすれば、その日から毎日の食事記録をつけることができる。

183ページ，AB判オールカラー。

定価2,100円(税込)

問合せ先

・静岡がんセンター研究所・患者家族支援研究部：

055-989-5222

・女子栄養大学出版部：03-3918-5411